



かごしまのまち歩きの達人

東川隆太郎が超おすすめする

薩摩の武士が 生きた町 観光素材集

～日本遺産と
まだある麓を楽しむ～



日本遺産「薩摩の武士が生きた町
～武家屋敷群「麓」を歩く～」のHPはこちら
<https://kagoshima-fumoto.jp/>

各麓近くの主要拠点からのアクセス

- | | | |
|--|--|---|
| 鹿兒島城跡
JR 鹿兒島中央駅から
⇒国道 10 号經由
車で約 10 分 | 入来麓
JR 川内駅から
⇒県道 42 号經由
車で約 25 分 | 串木野麓
JR 串木野駅から
⇒県道 39 号經由
車で約 5 分 |
| 喜入旧麓
JR 喜入駅から
⇒南方神社方面へ
車で約 5 分 | 里麓
川内港から高速船で
⇒上甕島・里港下船
車で約 10 分 | 蒲生麓
相良 IC から
⇒県道 57 号⇒県道 25 号經由
車で約 12 分 |
| 知覧麓
南九州市役所から
⇒県道 232 号經由
徒歩で約 3 分 | 手打麓
川内港から高速船で
⇒下甕島・長浜港下船
車で約 20 分 | 垂水麓
垂水フェリー・垂水港から
⇒国道 220 号經由
車で約 10 分 |
| 加世田麓
南さつま市役所から
⇒国道 270 号經由
車で約 5 分 | 出水麓
JR 出水駅から
⇒県道 373 号經由
車で約 6 分 | 志布志麓
志布志港から
⇒県道 499 号經由
車で約 10 分 |

[資料・写真提供]
P4. 加世田をボタリング体験：南さつま市観光交流課 / 和綿の糸紬と小物づくり体験：南九州市商工観光課 / P5. 喜入旧麓：鹿児島市文化財課 / P6. 串木野麓（串木野城、串木野麓散策、いちき串木野市総合観光案内所 / P7. 黎明館 1 階の望岳堂：鹿児島県歴史・美術センター黎明館 / 旧島津氏玉里邸庭園：鹿児島市文化財課 / P8. 文化体験（着付・着装体験、弓矢体験、薩摩焼絵付け）：仙巖園 / 月窓亭：西之表市社会教育課 / P9. 一字治城、ひおきPR 武将隊、よしとし軍議場、妙円寺詣り：日置市商工観光課 / P12. 硫黄谷温泉：硫黄谷温泉霧島ホテル、指宿温泉（殿様湯）撮影吉本圭 / P13. 住吉神社流籠馬：曾於市観光協会 / 高山流籠馬：肝付町観光協会 / 伊作流籠馬：日置市商工観光課 / P14. 出水の種子島染：出水市 / 元村諏訪神社の例祭に伴う芸能、里の武者踊、手打武士踊：薩摩川内市 / 太鼓踊り：始良市

[問い合わせ先]
観光かごしま大キャンペーン推進協議会
〈公益社団法人 鹿児島県観光連盟内〉
鹿児島市名山町 9-1
TEL 099-223-5771



この観光素材集では、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」武家屋敷群「麓」を歩くの構成文化財を中心に、薩摩の武士が暮らした場所に注目して紹介しています。

戦国武将や明治維新といった勇猛果敢な薩摩の武士のストーリーがよく知られる鹿児島ですが、それらにも密接に関わっているのが「麓」という地域です。

麓とは薩摩藩内で武士が暮らした地域を指すことばで、時代による変化があるものの113を数えました。その中でも今なお良好な景観と独特な雰囲気を与え、江戸時代の薩摩の武士の生活を想像し楽しむことができる場所として12地区95の構成文化財が「薩摩の武士が生きた町」武家屋敷群「麓」を歩くとして日本遺産に認定されています。

山城の裾野など防御に適した場所に作られた各地の武家屋敷群のことを麓と呼び、各屋敷も門と玄関の間に生垣を配置するなど、敵の侵入に備えた構造を持っていました。

鹿兒島城跡や麓を歩けば、薩摩の武士たちの往時の生き様が見えてきますし、各地に伝わる祭りや江戸時代から親しまれている温泉地などもあります。日本遺産に認定された麓は、体験やまち歩きガイドなどが整備されていますし、それ以外の麓も実は多くあります。

いたるところで武士の暮らしに 触れることができる地 鹿児島

令和元年に日本遺産に認定された

「薩摩の武士が生きた町」～武家屋敷群「麓」を歩く～ 12 地域・95 の構成文化財で薩摩の武士たちの暮らしぶりを伝える

江戸時代、薩摩藩内には武士が暮らす地域＝「麓」が 113 もあった全国でも珍しい地域でした。麓は今なお良好な景観と独特な雰囲気を与え、江戸時代の薩摩の武士の生活を想像し楽しむことができる場所となっています。

Q どのくらいの武士がいたの？

すごい武士の数

A 江戸時代、武士の人口割合は全国平均だと 5%ほどでした。それに対して鹿児島では武士が 26%を占めました。そして全国の武士の総数の 10%が薩摩の武士、つまり全国の武士の 10 人に一人が薩摩の武士でした。

Q どうして薩摩藩は武士が多かったの？

A 江戸時代、現在の鹿児島県と宮崎県の一部にあたる薩摩藩を治めた島津氏は、鎌倉時代以降この地で他の豪族や一族の間でも覇権を争っていました。天正 5(1577) 年に薩摩・大隅・日向の三州統一を成し遂げ、その勢いで九州全域の覇権までもう少しというところまで攻め取ります。しかしながら豊臣秀吉の九州仕置によって三国のみの領有を認められ、これが明治初期まで続く領地となります。戦国時代に領土を拡大する過程で抱え増えた家臣やその家来は保持されることになり、薩摩藩は武士が多い地域となりました。

Q 薩摩藩内各地に武士が住む仕組みとは？

地域に分散

A 徳川幕府が慶長 20(1615) 年に定めた「一国一城令」により一つの藩に城は一つのみとなり、薩摩藩内に多くあった山城もその対象となりました。藩主の住む城、鹿児島城の周辺の城下町だけでは武士が住む場所は確保できませんでした。また山城周辺は南九州特有の地形・水はけのよいシラス台地を利用した立地であり、その麓は水が得られるという地形的に良い特徴もありました。これらの居住空間として秀逸な場所が地域の行政の中心地となり、113 もの武士が住まう地域拠点＝麓が形成されました。武士の町であるがゆえに、街路の作り方や邸宅の仕組みも敵に備えた構造が見られるのが特徴です。またこれらを外の城＝外城と呼び、江戸時代後半には郷と改称され、明治以降の市町村の単位につながる行政単位となりました。

Q 江戸時代、外城に住む武士はどのように暮らしていたの？

A 武士という身分であっても、人口の多くを占める武士自らが、農業や生産業にも携わっていました。しかしながら武士としての鍛錬もしていたようです。実際、幕末になると、鹿児島城周辺の城下士だけでなく、外城に住む武士（郷士）たちも再編成され、戊辰戦争を戦うなど明治維新を推進する力となりました。

薩摩藩内の麓の位置関係と主な麓



目次

- 重要伝統的建造物群保存地区＋国指定史跡の山城のある麓 5 選 — P3
- さまざまなタイプの麓 — P5
- 鹿児島城下の見どころ — P7
- 最南端の麓があった種子島 — P8
- 戦国武将・島津義弘ゆかりの麓 — P9
- 江戸時代から続く鹿児島の温泉 — P11
- 武士の町に伝わる伝統芸能 — P13
- モデルコース — P15

次項以降の凡例

- ア アクセス
- 駐 駐車場
- 問 問合せ先
- 住 住所
- 電 電話番号
- 営 営業
- 休 休み
- 料 料金
- 申 申込み先

種子島

西之表麓 P8

重要伝統的建造物群保存地区＋国指定史跡の山城のある麓5選

日本遺産の構成文化財であるとともに、美しい街並みで知られる武家屋敷群をご紹介します。

「男はつらいよ」の
ロケ地にも
なった麓



加世田麓

石垣、生垣、武家門と水路の美しいハーモニー

南九州の地を治め続けた島津氏の中興の祖といわれる島津忠良が晩年を過ごした加世田。別府城と新城の二つの山城に挟まれた旧街道沿いに武家屋敷が建ち並び、用水路やそれにかかる石橋などと屋敷地の植込みが美しい景観を作り出している。

- ① 鹿児島空港から車で約70分、鹿児島中央駅から車で約45分 (駐) あり
- ② 090-4512-6325 (加世田いにしへガイド)

体験 加世田麓をポタリング体験

武士が歩いた街並みを自転車散歩で楽しもう
 ① 鹿児島県南さつま市加世田本町34-2 (南さつま市観光協会)
 ② 0993-53-3751 (南さつま市観光協会)
 ③ 月曜休 9:00～18:00 ※体験可能時間はプランによる。要問合せ。
 ④ 1500円/人【自転車レンタル+竹田神社ガイド+抹茶体験】 ※要予約・2人から※所要時間:約2時間
 自転車レンタルのみ:2時間以内200円(以降1時間ごとに100円) マップ付き



出水麓



肥後藩との国境に置かれた最大の麓

麓はそもそも防衛拠点としての役割を持つ。出水麓は江戸時代北の肥後藩(熊本)と接し、防衛上も重視された麓。出水城の麓から続く周辺より一段高い丘陵地に60haの広大な麓が計画的に作られた。玉石を利用した石垣が美しい街路に、多くの武家屋敷が現存。

- ① 鹿児島空港より車で約75分、鹿児島中央駅より車で約90分、JR出水駅より車で約5分
- ② あり ③ 0996-79-3030 ((一社)出水市観光特産品協会)

見学 出水麓歴史館

出水麓武家屋敷群周遊の前に全体像や歴史を学んで出発しよう。
 ① 鹿児島県出水市麓町10-39
 ② 0996-68-1390
 ③ 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ④ 第3水曜日(祝日の場合はその翌日)
 ⑤ 高校生以上510円、小中学生300円
 ※上記料金は「出水麓歴史館」「竹添邸」「税所邸」3施設の共通入館証。
 「竹添邸」「税所邸」は年中無休。
 ⑥ 出水麓武家屋敷群駐車場(無料) 普通車43台・軽自動車6台・身障者用4台・バス4台

体験 武家屋敷で着物茶道体験

着物で武家屋敷群内を歩けば素敵な思い出になること間違いなし。お茶のおもてなしも。女性着物は選んだ着物を持ち帰ることが可能。
 ① 0996-79-3030 ((一社)出水市観光特産品協会)
 info@izumi-kankou.main.jp
 ② 女性用着物と帯持ち帰りプラン:料金10,000円/人(着た着物と帯、足袋は持ち帰り可、履物、長襦袢などのレンタル料と着付け代込み) 男性用着物レンタルプラン:料金6,500円/人。
 ③ 時期:10月～4月(5月～9月は浴衣茶道体験)
 ④ 所要時間:2～3時間
 ⑤ 定員:5名以上(4以下の場合は茶道体験なし)10日前までに要申込。

体験 いずみ観光牛車

風情ある街並みを牛車に揺られながら、のんびりと約1kmを約25分で回る。お茶のサービスや陣羽織を着ての記念撮影も。ガイドの解説も魅力のひとつ。
 ① 0996-62-1511 (ホテルキング) ② 11:00～15:00 (要予約)
 ③ 平日(平日でも4人以上の予約であれば相談)、雨天時
 ※年末年始のスケジュールについては要問合せ
 ④ 大人1000円/人、小学生以下500円/人



宿泊 RITA 出水麓 宮路邸

大河ドラマ「篤姫」のロケ地でもある宮路邸。2022年に広大な屋敷を趣の異なる3室に分け「武家屋敷ホテル」として宿泊が可能に。薩摩の武士の生活にじっくり触れることができます。
 ① 鹿児島県出水市麓町18-35
 ② 0996-68-8003(9:00～18:00)
 ③ チェックイン:15:00～18:00
 チェックアウト:～10:00
 ④ 1棟3室(各室にトイレ・バスルームあり)
 いずれも大人4名定員、小学生以下子連れの場合は大人3名、子供2名まで可
 ⑤ 1客室につき1台分まで、無料駐車場あり



料金・申込
公式 Instagram

知覧麓



旧街道沿いに続く優美な麓「薩摩の小京都」

知覧城跡も
国指定史跡

昭和56年に重要伝統的建造物群保存地区に選定された知覧武家屋敷群。その中で、国の名勝に指定された7つの庭園が一般公開されている。通りからは速くに望む母ヶ岳を中心に統一された景観、武家門をくぐると正面には防衛のための屏風岩があり、さらに庭に入るとそれぞれに特徴ある世界が広がることに驚く。折れ曲がった旧街道沿いの両側に石垣、生け垣が整然と続く。

- ① 鹿児島空港から車で約65分、鹿児島中央駅から車で約40分、南薩縦貫道知覧金山水車ICから車で約4分
- ② あり ③ 0993-83-2511 (南九州市商工観光課) ④ 料) 大人:530円、小人(小・中学生)320円

体験 和綿の糸紡ぎと小物づくり体験

武家屋敷内の畑で育てられた綿を紡ぎ、糸を組み合わせてプレスレットに。
 ① 南九州市知覧町郡6222
 ② 080-6619-1861(知覧武家屋敷コットンファーム)
 ③ 通年9:00～18:00
 9月～11月は綿収穫体験も可・体験時間約120分
 ④ 2000円【知覧武家屋敷庭園の入園料込み】
 ※1週間前までに要予約・2人から



ガイド 南九州市観光ボランティアガイド

それぞれに際立つ庭園の美しさなど、余すところなくご案内。
 ① 鹿児島県南九州市知覧町郡13731-1
 ② 0993-58-7878(知覧武家屋敷庭園事務所)
 ③ 通年9:00～17:00 ガイド1名につき約25名対応可
 体験時間約60分
 ④ 無料【別途知覧武家屋敷庭園入園料が必要】
 ⑤ 希望日の7日前までにお申込みください。



WEB予約

入来麓



入来 山と川に抱かれた中近世の麓

清色城跡も
国指定史跡

戦国時代を経て領主が変わった地域が多い中であって、入来麓は鎌倉期からほぼ入来院家が治め続けた珍しい地。中世の山城(清色城跡)と堀の役割をする樋脇川に囲まれた曲線的な街並みと、江戸時代以降の整然とした街並みが、玉石垣が積まれた街路の中で調和している。

- ① 鹿児島空港から車で約50分、鹿児島中央駅から車で約50分、川内駅から車で約25分
- ② あり ③ 0996-44-5200 ((株)入来麓観光案内所)

見学 旧増田家住宅

明治初期に建てられたと考えられるが、それ以前の様式も伝える武家住宅。母屋、石蔵、浴室便所、洗い場が一体となって保存されている。
 ① 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名77
 ② 0996-44-4111
 ③ 9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ④ 月曜(月曜が休日の場合は火曜)、12/31～1/3
 ⑤ 無料

体験 サムライツアーリズム

武家屋敷群内を本格的な甲冑姿や着物姿で散歩したり、重要文化財の旧増田家住宅で茶道体験を楽しんだりできる様々な体験プランを提供。
 ① 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名95
 ② 0996-44-5200(入来麓観光案内所)
 ③ 通年9:00～17:00(受付時間)
 ※体験可能時間はプランによる。要問合せ。
 ④ 甲冑体験2,750円(税込)～
 着物体験3,850円(税込)
 茶道体験2,300円(税込)



関連URL

ガイド 薩摩川内市公認観光ガイド

薩摩川内市公認観光ガイドのご案内します。
 ① 鹿児島県薩摩川内市鳥追町1-1
 ② 0996-25-4700 (株)薩摩川内市観光物産協会内
 ③ 年中無休(応相談)
 ④ ガイド1名2,500円(1時間)
 ⑤ 希望日の5日前までに電話にてお申込みください
 ※詳細は、「薩摩川内市 公認観光ガイド」でご確認ください。

志布志麓



国指定史跡 志布志城の麓に広がる武家屋敷群

各所に見られる
湧水も散策の
楽しみに

太平洋を活かした貿易による富をもたらず港を有することから、群雄割拠の地であり続けた志布志。それ故にここに築かれた志布志城はいくつもの台地からなる南九州を代表する山城。屋敷地は山城と山城と間の狭い谷筋に沿って立地し、回遊をはばむ城らしい特徴がある。

- ① 鹿児島空港から車で約70分、鹿児島中央駅から車で約90分、都城志布志道路志布志ICから車で約5分、志布志港から車で約5分 (駐)市営駐車場あり ② 099-472-2224 (志布志市総合観光案内所)

ガイド 志布志観光ガイド

宝満寺跡と武家屋敷群コース/麓庭園と湧水群コース
 ※原則として徒歩。※ご希望の見学場所、所要時間等は要相談。
 ① 鹿児島県志布志市志布志町志布志2-28-11
 ② 099-472-2224 (志布志市総合観光案内所)
 ③ 案内可能時間9:00～16:00、受付時間9:00～17:00(年末年始を除く毎日)
 ④ 200円/人
 ⑤ 原則1週間前までに要連絡



江戸時代の計画的麓 立地から江戸時代の新しいまちづくりが垣間見える。



日本一の巨樹“大クス”が見守る武家門のまち

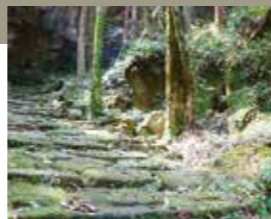
司馬遼太郎も訪れた

蒲生は日本一の大きさを誇る大クスのある蒲生八幡神社の創建と、蒲生城跡の築城から2023年で900年という歴史ある町。江戸時代後半に新たな麓が形成され、それ以来のまち割と屋敷に付随する武家門が数多く残る街並みが魅力。

① 鹿児島空港より車で約20分、鹿児島中央駅より車で約35分、九州自動車道始良ICより車で約10分
② あり（蒲生観光交流センター） ③ 0995-66-3145（始良市商工観光課）

見学 掛橋坂

蒲生麓の北西に位置し、蒲生と蘭牟田を結ぶ重要な道の中にあつた坂。掛橋坂がある場所は山道、寛政8（1796）年までに石段や切り石を敷いた石畳がつけられたと推測されている。



※蒲生麓のガイド情報についてはP10参考「始良市観光ボランティアガイド会」

見どころ

蒲生を含む始良市には、蒲生麓以外にも加治木、帖佐、山田、重富という4つの麓があり、なかでも加治木、帖佐、重富はいずれも戦国武将・島津義弘との関わりが深い。P10参照



垂水麓

島津氏一門家の壮麗な麓

とにかく街路が面白い！

垂水麓は島津氏中興の祖・島津貴久の弟、忠将を祖とする垂水島津家の領地で、日本遺産の11の麓の中で唯一島津一門家（垂水島津家）の麓。現在垂水小学校となっている林之城跡を中心に、広大な範囲で整然とした格子状の区画が広がっている。現在は住宅地となっているまち割も江戸時代後半の地図と比較しても変化なく、城跡である垂水小学校の正門の脇にある「お長屋」は江戸時代の建築物で非常に珍しい。また垂水島津家墓地は国指定の史跡。① 鹿児島空港より車で約65分 ② 0994-32-7551（垂水市教育委員会社会教育課）

見どころ

国指定史跡 鹿児島島津家墓所

垂水島津家墓所を含む、島津宗家と島津家の分家5家（越前〔重富〕島津家、加治木島津家、今和泉島津家、宮之城島津家、垂水島津家）の歴代の墓所が、2020年に「鹿児島島津家墓所」として国の史跡に指定されている。地元の石材で壮麗に仕上げられた墓所は必見。

ガイド 麓散策 お長屋など（60分）

① 0994-32-7551（垂水市教育委員会社会教育課）
② ガイド1名/2,000円（半日）、3,000円（終日）
※施設利用料金などの実費負担を除く
※行程によって料金に変更になる場合あり



中世の山城と 一体型の麓 中世の山城の周囲に自然地形を活かしてつくられている。



喜入旧麓

旧（もと）だからこそ残った中世の佇まい

江戸時代が始まって間もない1650年代、喜入麓は北側に移転。しかしながら“旧”麓には領主の菩提寺や神社がそのまま残り、営みも残った。その為江戸時代を通じて刻々とその姿を変えていった他の麓に比べ、喜入旧麓では貴重な麓の原風景を味わうことができるといえる。

① 鹿児島空港より車で約70分、鹿児島中央駅より車で約45分、JR喜入駅より車で約3分
② あり（大型専用駐車場なし） ③ 099-227-1962（鹿児島市教育委員会文化財課）

見どころ

グリーンファーム {喜入旧麓から車で10分}

喜入旧麓からほど近いグリーンファームには、江戸時代薩摩藩で盛んに飼育されていた馬の牧（牧場）の名残を伝えるオロ（馬を追いつまむための場所）が残っている。眺めもよく、麓と合わせて訪れたい。

① 鹿児島県鹿児島市喜入一倉町5809番地97
② 099-345-3337
③ 11月～3月 9:00～17:00
4月～10月 8:30～18:00
④ 12月29日から翌年1月1日休園
⑤ 入園無料、有料体験イベントあり

ガイド 鹿児島ぶらりまち歩き

日本遺産 薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～麓の原風景を巡る

① 1000円/人、小・中学生500円/人 ※20人以上の団体の場合2割引
② 集合・解散場所：鹿児島市役所喜入支所
③ 集合時間：13:20
④ (1) 電話 099-208-4701 (2) FAX 099-208-4703
⑤ (3) 申込フォーム
⑥ いずれかで、7日前までに要予約



串木野麓

島津家久の居城にして島津豊久が生まれた城・串木野城を中心にした麓

串木野麓は中世の串木野城を中心に広がっていた麓。周辺開発が進み、麓の面影は断片的とはいえ、歴史上名高い戦国武将ゆかりの城・串木野城に親しんだり、城周辺の曲輪を利用した神社や立派な武家住宅などの景観を楽しんだりできる。

① 鹿児島空港から車で約70分、鹿児島中央駅から車で約35分 東九州自動車道串木野ICから車で約1分、JR串木野駅から車で約5分 ② あり ③ 0996-32-5256（いちき串木野市総合観光案内所）

見どころ

薩摩金山蔵

江戸時代薩摩藩の財政を支えた一つが金山。そのひとつ串木野金山で掘り続けられた総延長120kmの坑洞跡を活かし焼酎の貯蔵・熟成が行われている薩摩金山蔵。日本遺産「薩摩の武士が生きた町」の構成文化財でもある焼酎を知るのにぴったりの施設。

① 鹿児島県いちき串木野市野下13665
② 0996-21-2110
③ 土・日・祝日の10:00～17:00

ガイド 串木野麓散策 串木野城跡など（約60分）

① 0996-32-5256（いちき串木野市総合観光案内所）
② 年末年始を除き、9:00～16:00まで
③ 団体：バス1台（20名程度）につき2000円
※施設利用料金などの実費負担を除く
※行程によって料金に変更になる場合あり



東シナ海に浮かぶ島、甕島でも麓を楽しむ 甕島は鹿児島本土の西に位置し、まさに国境の島でもあることから警備上たくさんの武士が配置されていた。



手打麓

海上交通の要衝、甕島の南の防衛拠点

手打麓は手打湾に沿っている美しい麓。海の近くに設けられた津口番所跡が海路を行き来する人々を監視対象としていたことを伝える。手打海岸で採れる大きな玉石による石垣が見事。

① 里港から車で約60分、長浜港から車で約15分 ② 09969-5-1800（下甕観光案内所）

ガイド 薩摩川内市公認観光ガイド

① 薩摩川内市鳥追町1-1
② 0996-25-4700（株）薩摩川内市観光物産協会内
③ 年中無休（応相談）
④ ガイド1名2,500円（1時間）
⑤ 希望日の5日前までに電話にてお申込みください
※詳細は、「薩摩川内市 公認観光ガイド」でご確認ください。



武家屋敷に詳し



里麓

見どころ

長目の浜

江戸時代初期の薩摩藩主島津光久がその眺めの良さから命名した珍しい地形の潟湖。

① 鹿児島県薩摩川内市上甕町瀬上
② 09969-6-3930（上甕観光案内所）

海上交通の要衝、甕島の北の防衛拠点

甕島列島のうち最も北に位置する上甕島。その玄関口里港の近くにある里麓は、八幡神社の前から山手に向かって伸び、現在に至るまで美しく保たれた玉石の石垣が目を引く。① 里港から車で約2分または徒歩約7分 ② 09969-6-3930（上甕観光案内所）

甕島へのアクセス

甕島へ渡る方法は高速船とフェリーがあります。高速船は洗練されたデザインの船の中でプチ贅沢気分を楽しみたい方に、フェリーは自家用車で楽しみたい方にお勧め。

高速船甕島 1日往復2便

高速船ターミナル発着
（鹿児島県薩摩川内市港町京泊6131-23）
鹿児島空港から高速船ターミナルまで車で約75分
JR川内駅から高速船ターミナルまで車で約20分

フェリーニューこしき 1日往復2便

串木野新港発着
（鹿児島県いちき串木野市西薩町12）
鹿児島空港から串木野新港まで車で約60分
JR串木野駅から串木野新港まで車で約5分

詳細▼





薩摩藩外城制度の要

薩摩藩を治めた島津氏の居城・鹿児島城。藩内113の外城にも武士が配されたが、もちろん鹿児島城下に最も多くの武士が住んでいた。城の周囲は島津一家や重臣の屋敷地があった。本丸跡は現在も石垣と堀に囲まれている。

- ① 鹿児島空港から車で約40分、鹿児島中央駅から車で約10分
- ② 099-227-1962 (鹿児島市教育委員会文化財課)

背後の城山まで歩くと城の全貌が理解できる!

見学 鹿児島城 御楼門

鹿児島(鶴丸)城は、慶長6(1601)年頃、のちに初代藩主となる島津家第18代当主・家久が建設に着手した島津氏の居城。御楼門はその居館の正面中央に位置し、特別な時のみ通ることができる門であった。幕末に3代目建設の記録があり、その門が明治6(1873)年の火災で焼失。令和2(2020)年3月に147年ぶりに復元されている。夜はライトアップも(毎日:日没~22:00)



- ① 鹿児島県鹿児島市城山町7-2
- ② 099-222-5100 (鹿児島県歴史・美術資料センター黎明館)
- ③ 鹿児島県歴史・美術資料センター黎明館の開館時間は通行可。2階部分は非公開。

【黎明館は月曜休(月曜祝日の場合は翌平日)、毎月25日(土・日の場合は開館)、12/31~1/2】

参考PDF▶



見学 鹿児島県歴史・美術センター黎明館

鹿児島城本丸跡に建つ。1階の常設展示では鹿児島県内の歴史を時系列で学ぶことができるが、麓について深掘りするのにも最適。武家門の展示、出水麓のジオラマ、志布志城のジオラマ、そしてかつての鹿児島城本丸のジオラマもある。



- ① 鹿児島県鹿児島市城山町7-2
- ② 9:00~18:00 (入館は17:30まで)
- ③ 月曜休(月曜祝日の場合は翌平日)、毎月25日(土・日の場合は開館)、12/31~1/2
- ④ 一般400円/人、高校・大学生250円/人、小・中学生150円/人(20人以上で団体割引有)

ガイド 鹿児島ぶらりまち歩き

日本遺産 薩摩の武士が生きた町~武家屋敷群「麓」を歩く~ 鹿児島の本城 城山を歩く

現在も鹿児島市民に「城山」として親しまれている鹿児島城の山跡部分。中世の山城の姿を実感できる土塁、空堀、切岸の跡等を見ることができるコース。



- ① 1000円/人、小・中学生500円/人 ※20人以上の団体の場合2割引
- ② 集合・解散場所: 城山展望台駐車場
- ③ 集合時間: (1) 午前の部: 9:50 (2) 午後の部: 13:50
- ④ (1) 電話 099-208-4701 (2) FAX 099-208-4703 (3) 申込フォーム



参考URL

※ルートが一部変更になります

鹿児島城跡から車で約10分



旧島津氏玉里邸庭園

四季折々の美しさ

国指定名勝の旧島津氏玉里邸庭園は、幕末の藩主・島津斉彬や国父として幕末に活躍した島津久光の父である島津斉興によってつくられ、後に久光が再興した。現在は回遊式の庭園を楽しむことができ、大河ドラマのロケ地にもなった。

- ① 鹿児島中央駅から車で約15分
- ② 鹿児島県鹿児島市玉里町27-20
- ③ 入園無料(茶室利用は半日2,400円、1日4,800円。要予約。)
- ④ 099-222-2627(管理事務所)
- ⑤ 9:00~17:00
- ⑥ 普通車5台、大型バス1台(無料)
- ⑦ 火曜(休日の場合は翌平日)、12/29-1/1

参考URL



鹿児島城跡から車で約10分



仙巖園

鹿児島といえばやっぱりココ!

島津氏の別邸として、万治元(1658)年からの歴史がある。桜島と錦江湾を望む絶景はまさに鹿児島随一。歴代の当主がこの場所を愛し、また鹿児島とつながりの深い琉球を通じて取り入れられた中国風のしつらえも見どころのひとつ。

- ① 鹿児島空港から車で約40分、鹿児島中央駅から車で約20分
- ② 鹿児島県鹿児島市吉野町9700-1
- ③ 099-247-1551 ④ 300円/回
- ⑤ 9:00~17:00年中無休 鹿児島マラソン開催時は臨時休園
- ⑥ 仙巖園・尚古集成館共通1,000円/人、小中学生500円/人
- ⑦ 仙巖園・御殿・尚古集成館共通1,500円/人、小中学生750円/人

大名庭園で世界遺産!

2015年に「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録された「旧集館」は、日本の近代化の歩みを示す貴重な遺産。うちひとつの「反射炉跡」はこの仙巖園の中にあり、仙巖園の一部も世界遺産の範囲に含まれる。国内で世界遺産になっている大名庭園は仙巖園だけ。



※尚古集成館本館は、耐震・リニューアル工事の為、2024年10月末まで休館

体験 文化体験

2022年春オープン体験施設では、「着付・着装体験」「弓矢体験」なども。鹿児島の歴史・伝統・文化を学び、体験し、楽しむためのスペース。下記以外の体験もあるので詳しくは右URLを参照のこと。

参考URL



- 着付・着装体験
- 【所要時間 60分】
- ① 4,000~7,000円/人
- ※カメラマンによる撮影・写真データ送付は別途料金3,000円



- 弓矢体験
- 【所要時間 5分】
- ① 500円/回
- ※予約不要



- 薩摩焼付け
- 【所要時間 30~60分】
- ① 1500~4000円/回
- ※予約不要

西之表麓



最南端の麓があった種子島

麓の植生にも南の島らしさが

戦国時代に鉄砲が伝来した島としても知られる種子島。種子島氏が治め、江戸時代にも至った。領主仮屋は寛永元(1624)年に現在の榕城小学校の場所に移されている。麓が置かれた最南端の島である。

- ① 西之表港から車で5分、種子島空港から車で30分
- ② 0997-23-3215 (種子島開発総合センター鉄砲館)

こも見どころ

種子島開発総合センター「鉄砲館」

種子島の歴史、民俗、自然を紹介する施設。鉄砲の伝来地であり、且つ国内で初めて火縄銃を製作した地であることから、国内外の古式銃約100点を展示し、「鉄砲館」の名で親しまれる。

- ① 鹿児島県西之表市西之表7585
- ② 0997-23-3215
- ③ 8:30~17:00 (入館は16:30まで)
- ④ 毎月25日 (7月・8月・日曜日は除く)
- ⑤ 年末年始 (12/30~1/2)

見学 月窓亭

麓の雰囲気伝える建物。種子島家の家老・羽生家によって200年以上前に建てられた屋敷は、明治19年から平成12年まで種子島家の屋敷として使用された。現在は一般に公開されている。



- ① 鹿児島県西之表市西之表7528番地
- ② 0997-22-2101(赤尾木文化伝承館月窓亭)
- ③ 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- ④ 毎月25日(7月8月は除く)、年末年始(12/30~1/2)
- ⑤ 一般200円/人、高校生150円/人、小・中学生100円/人
- ※20名以上団体割引有

日置市

島津義弘が生まれた地は現在の日置市にあたり、義弘の祖父忠良や、兄弟の義久、歳久・家久もこの地で誕生。まさに戦国島津のルーツといえる場所が日置市。それだけに南九州のサムライに触れることができる場所が充実。

- ⑦ 日置市街地まで鹿児島空港から車で約 50 分、鹿児島中央駅から車で約 20 分・JR 鹿児島本線で 17 分
- ☎ 099-248-9409 (日置市商工観光課)

伊作麓



伊作城

島津義弘の祖父・忠良のルーツ、伊作島津家の居城。本丸部分には歴代当主の誕生を示す記念碑や誕生石などがある。

伊集院麓



一字治城

島津義弘が生まれた翌年、父・貴久が天文 5(1536)年に攻略した城。貴久はここに居城するようになり、キリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルとこの城で会見したとも。この城を中心に伊集院の麓が形成された。

島津義弘のカッコいい銅像は伊集院駅にあります



始良市

戦国武将・島津義弘が初陣を果たし、また重要な時期や晩年を過ごした始良市。江戸時代も崇敬を集め続けた義弘ゆかりの麓がいくつもある。

- ⑦ 始良市街地まで鹿児島空港から車で約 20 分、鹿児島中央駅から車で約 35 分
- ☎ 0995-66-3145 (始良市商工観光課)

重富麓



岩剣城跡・岩剣神社

天文 23(1554)年に島津義弘が兄義久とともに初陣を飾った場所。島津氏が勝利し、島津義弘はこの城にとどまることを命じられ、山城の麓の平松に館を構えた。のち江戸時代中期に重富島津家の館が置かれた。

- ☎ 鹿児島県始良市平松 5636
- 🚶 あり (岩剣神社のみ)

帖佐麓



帖佐御屋地跡

文禄 4(1595)年からの義弘の居城のひとつ。現在、その屋形跡の中心には稲荷神社が建立され、石垣などが当時を偲ばせてくれる。周辺には朝鮮陶工らに茶器を焼かせた窯跡(古帖佐焼宇都窯跡)や、義弘愛馬の膝つき栗毛の墓などもあり、義弘ファンならずとも必見の地。

- ☎ 鹿児島県始良市鍋倉
- 🚶 なし

加治木麓



加治木島津屋形跡

慶長 12(1607)年に移り元和 5(1619)年に亡くなるまで島津義弘が晩年を過ごした地。

- ☎ 鹿児島県始良市加治木町仮屋町
- 🚶 なし

ここも見どころ

精矛神社

島津義弘をご祭神とする神社。加治木島津屋形にあったが、没後 300 年にあたり大正 7(1918)年に遷座。今でも人々の崇敬を集める。

- ☎ 始良市加治木町日木山 311
- 🚶 あり



ガイド 始良市観光ボランティアガイド会

- ☎ 鹿児島県始良市東餅田 2445-7
- ☎ 0995-67-6052(始良市観光協会)
- 🕒 年末年始、月曜
- ☎ 電話または FAX(0995-67-6053) (希望日の 1 週間前まで)
- 🌐 始良市観光協会 HP をご確認ください。



令和の時代にも日置市には武将隊がいる

日置市では島津義弘公没後 400 年を契機に「武将になれるまち」を掲げ「ひおき PR 武将隊」を結成。歴史に詳しくなくても感じてほしい! ということで活動している。

参考 URL



体験 あなたも武将に! よしとし軍議場

戦国時代の軍議場をイメージした内装の体験館。甲冑着付け体験をはじめ、フォトスタジオ、貸しスタジオとしての利用が可能。

- ☎ 鹿児島県日置市日吉町吉利 3067-1
- ☎ 099-295-3899



武者が続々と集まってくる祭りがある

祭 鹿児島三大行事「妙円寺詣り」

妙円寺詣りは島津義弘の菩提寺・妙円寺を鹿児島城下の武士たちが約 20 km の道のりを歩いて参詣する江戸時代から続く行事。関ヶ原の戦いで苦難の末帰還を果たした義弘を偲び、合戦前夜の 9 月 14 日に夜を徹して参拝し士気を高めた。廃仏毀釈によって徳重神社に変わったのちも続き、現在は 10 月の第 4 土日に行われる。祭に合わせ一般の人々も遠行を楽しむことが可能で、境内等でのおもてなしもある。



ここも見どころ

徳重神社

島津義弘の菩提寺・妙円寺の跡地に明治 4(1871)年に建立された神社。ご祭神は島津義弘。妙円寺は明治 13(1880)年に近くに再興され現在に至る。



- ☎ 鹿児島県日置市伊集院町徳重 1787
- 🚶 あり

湧水町

湧水町は栗野地域と吉松地域からなり、どちらも島津義弘ゆかりの地が点在している。

ゆかりの神社もたくさん!

- ⑦ 鹿児島空港から車で約 20 分 鹿児島中央駅から車で 50 分
- ☎ 0995-74-5690 ((一社)霧島山麓湧水町観光協会)

栗野麓



松尾城跡

島津義弘が居城し、この地から朝鮮半島に出兵している。山城である城跡の本丸跡からは周辺の山々などの風景を楽しむことができる。写真は松尾城跡の野面石積。

- ☎ 鹿児島県始良郡湧水町木場
- 🚶 あり

ガイド 湧水汽車(わくわくぽっぽ)会

- ☎ 鹿児島県始良郡湧水町木場 677(JR 栗野駅舎内)
- ☎ 0995-74-5690((一社)霧島山麓湧水町観光協会)
- 🕒 年末年始
- ☎ 電話または FAX(0995-74-5690) (希望日の 2 週間前まで)
- 🎫 半日 2000 円、1 日 4000 円
- ※一日の場合は昼食代(ガイド分)が別途必要。 ※対応可能人数 1 人から



最寄りの麓
出水麓

出水麓については P3 参照



最寄りの麓
入来麓

入来麓については P3 参照



最寄りの麓
入来麓

入来麓については P3 参照



最寄りの麓
樋脇麓



最寄りの麓
市来麓

湯川内温泉

ぬるくて
気持ちいい

人里離れた場所にあり、江戸期に出水麓に居住する武士によって開発された湯。秘湯と表現したい建物の雰囲気、浴槽の下からこんこんと湧き出すやさしい湯に、出水麓の武士が癒しを求めて通ってきたことを想像させてくれる。

住 鹿児島県出水市武本 2060
電 0996-62-1535 (湯川内温泉かじか荘)

入来温泉

江戸期の領主である入来院家が家臣を派遣して管理運営したという。それだけに、サムライの湯と表現できよう。歴史ある温泉の物語を伝える神社もあり、おもてなしが充実した公衆浴場とともに楽しんでほしい。

住 鹿児島県薩摩川内市入来町副田
電 0996-44-5200 (入来麓観光案内所)

見どころ

堀切

青色城に侵入しようとする外敵を防ぐために、自然の地形を利用して築かれた空堀の一つ。当時と変わらない景色を、自分の五感で楽しめる。

住 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名

諏訪温泉

熱い湯が
好きな方
におすすめ

正徳 2(1712)年の記録にも見える江戸期には湧出していた温泉。熱い湯が好きという方にはおすすめの湯治場でもある。熱さに耐えながら入るのは、まさに武士の修練のようであり、それを体感できる湯といえよう。

住 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名 8920
電 0996-44-3472 (諏訪温泉)

見どころ

倉野磨崖仏

入来院氏の分家・倉野氏の関係する仏教施設があったと推測される。世界でここにしか掘られていない梵字などが10m四方に彫られ荘厳。

住 鹿児島県薩摩川内市樋脇町倉野

市比野温泉

薩摩藩 2代藩主・島津光久が「これぞ天下の名泉」と称したと伝わる温泉地だけに泉質が自慢。旅館はもちろん、公衆浴場も充実。地域に愛されている、普段着感覚の温泉地。

住 鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野
電 0996-38-2254 (市比野温泉地活性化協議会)

見どころ

道の駅「樋脇」遊湯館

市比野温泉の入り口に位置し、地元の農産物を販売。レストランや足湯もあり、旅の疲れをリフレッシュできるスポットとしても大人気。

住 鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野 156

湯之元温泉

薩摩藩内の西側を通る主要街道・出水筋が近くを通る湯之元温泉。江戸時代は身分によって浴場が区別され、御前湯や地頭湯には藩主や代官、所湯は武士、民衆湯や打込湯を庶民が利用していた。歴代藩主やその家族も訪れた温泉地。

住 鹿児島県日置市東市来町湯田
電 099-248-9409 (日置市商工観光課)



最寄りの麓
伊作麓

伊作麓については P13 参照



最寄りの麓
踊麓



最寄りの麓
踊麓



最寄りの麓
日当山麓



最寄りの麓
指宿麓

吹上温泉

伊作温泉とも呼ばれた吹上温泉。歴史は古く、戦国時代に島津家に仕えた上井兼兼の日記にもその名が見えることから戦国武将も訪れたといえよう。明治 3(1870)年、4(1871)年、7(1874)年に西郷隆盛が訪れたと伝わり、周辺での狩りとともに楽しんだという。

住 鹿児島県日置市吹上町湯之浦
電 099-248-9409 (日置市商工観光課)

硫黄谷温泉

とにかく
ぬい!

坂本龍馬とその妻お龍が、高千穂登山の際に訪れた温泉地。幕末に活躍した名家老の小松帯刀も療養のためにこの地の温泉を訪れている。それだけに湯量も充実し、ホテルの大浴場は入らずとも圧巻。入るとサムライ気分になれるかも。

住 鹿児島県霧島市牧園町高千穂 3948
電 0995-78-2121 (硫黄谷温泉霧島ホテル)

塩浸温泉

この温泉を訪れた有名な武士といえ、やはり坂本龍馬。敷地内には銅像や資料館もあり、龍馬と妻お龍の新婚旅行をしのぶことができる。

住 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田
電 0995-45-5111 (霧島市観光 PR 課)

見どころ

塩浸温泉龍馬公園

塩浸温泉は公園として整備、温泉施設、資料館もある。

住 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 3606
電 0995-76-0007
営 9:00-18:00、
休 月曜(月曜が祝日の場合は翌火曜)
料 [資料館入場料] 大人 200 円 / 人、
小人 100 円 / 人

日当山温泉

西郷隆盛が頻りに湯治に訪れた温泉地として有名。そのことを伝える観光施設も充実している。西郷に愛された温泉地だけに、旅館などの宿泊施設はもちろん、家族湯や公衆浴場も充実していることから、様々な温泉としての楽しみ方に適した温泉地といえよう。

住 鹿児島県霧島市単人町内、姫城
電 0995-45-5111 (霧島市観光 PR 課)

見どころ

日当山西郷どん村

この地の温泉を愛した西郷どんの宿(復元家屋)や、地元のとれたて野菜が並ぶ物産館や、旬の食材にこだわったレストラン「日当山無垢食堂」も。

住 鹿児島県霧島市単人町内 1487-1
電 0995-78-3828 (観光案内所) 休 年末年始
営 [レストラン] 8:30-10:30 (LO10:00 朝食)
11:30-14:30 (LO14:00 平日ランチ)
11:30-15:00 (LO14:30 土日祝ランチ) / 水曜休
[物産館] 8:30-18:00
[西郷どんの宿 / 観光案内所] 9:00-18:00

指宿温泉 (二月田温泉)

史跡も充実

島津家の殿様が訪れた温泉地であり、殿様湯とも呼ばれている。江戸後期の名君・島津齊彬も度々訪問した記録が残る。現在、史跡として残る浴槽に掘り込まれた丸に十の家紋が島津家ゆかりの温泉であることを物語る。浴舎前には島津齊彬が敷いた水道施設に使用したとされる石の飲泉場も残り、とにかく見どころもたくさん。

住 鹿児島県指宿市西方 1408-27
電 0993-22-2827 (二月田温泉殿様湯)

流鏝馬 まさに
サムライの技!!

鹿児島県下では、現在3カ所で伝承されている流鏝馬。馬に乗りながら弓を引き絞り矢を放つ姿はまさに武士を彷彿とさせる。流鏝馬は武芸が儀式化したものであり、地域の安寧や五穀豊穡が祈られ、年占いの性格も持つ。3カ所それぞれの地域で大切に伝承されている。

住吉神社流鏝馬

祭祀日 11月第3日曜日
場所 住吉神社参道
鹿児島県曾於市末吉町二之方 3995-1

射手は鎌倉時代の巻狩りの装束を身に纏い、約250mの参道で勢いよく馬を馳せ、3か所の的を射る。当たりのを持ち帰り家を葺けば栄えるといひ、矢が的に当たるほど翌年は豊年になると言われる。

☎ 0986-76-8873 (曾於市教育委員会生涯学習課)



最寄りの麓
末吉麓

高山流鏝馬

祭祀日 10月第3日曜日
場所 四十九所神社前馬場(宮之馬場)
鹿児島県肝属郡肝付町新富 5580

高山の流鏝馬は900年近い歴史があるとされ、奉納される四十九所神社は、この地を治めた肝付氏の祖である伴兼行が伊勢神宮から勧請し984年(永観2年)に創建したと伝わる。330mの馬場に3カ所の的を設け、3回駆け抜けながら合計9本の矢を放つ。

☎ 0994-65-2594
(肝付町教育委員会生涯学習課)

最寄りの麓
高山麓



伊作流鏝馬

祭祀日 11月23日
場所 大汝牟遅神社 横馬場参道

島津忠良が天文7年(1538)年に加世田城を攻める際に必勝祈願をし流鏝馬の奉納を誓ったところその夜のうちに加世田城を攻略できたので、奉納するようになったという。2人の射手が3回ずつ射る。

☎ 099-248-9432(日置市教育委員会社会教育課)



最寄りの麓
伊作麓



出水麓

出水の種子島楽



入来麓

元村諏訪神社の例祭に伴う芸能 演舞日 8月末頃



里麓

里の武者踊 演舞日 お盆頃



手打麓

手打武士踊 演舞日不定



加世田麓

加世田の水車カラクリ 上演日 7月23日



加世田麓

土踊(二才踊, 稚児踊) 演舞日 7月23日



知覧麓

豊玉姫神社と水車からくり 上演日 7月9・10日



蒲生麓

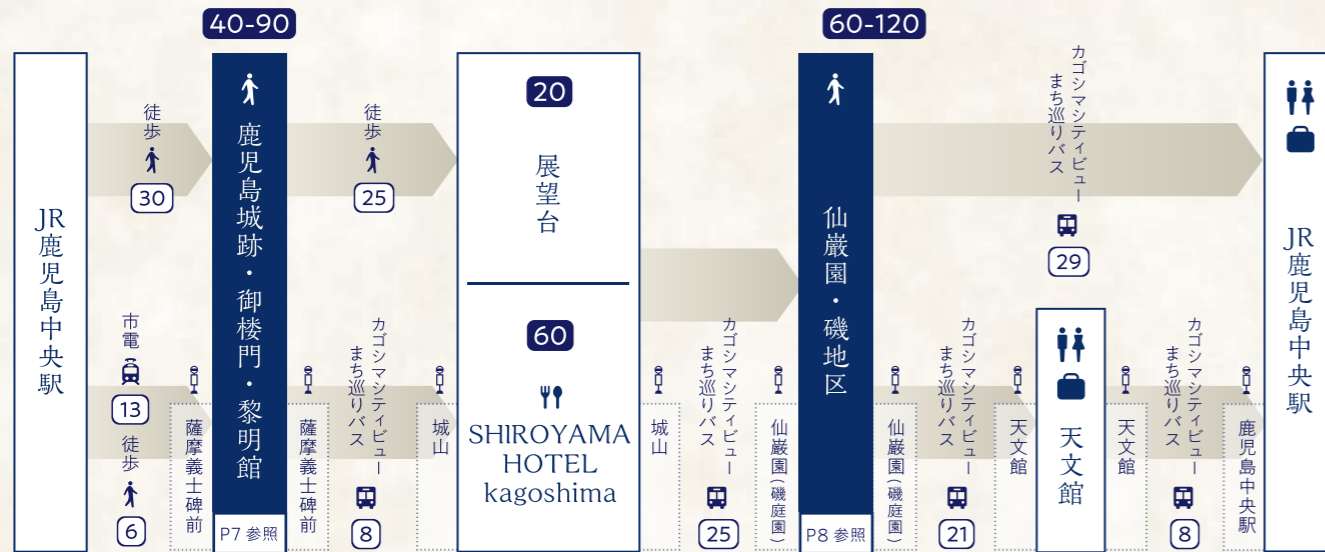
太鼓踊り 演舞日 8月21日



1 鹿児島城跡と仙巖園コース

日帰り

薩摩藩主・島津氏の居城である鹿児島城跡と、その別邸・仙巖園の両方を、バスを利用しながらまわるコース。

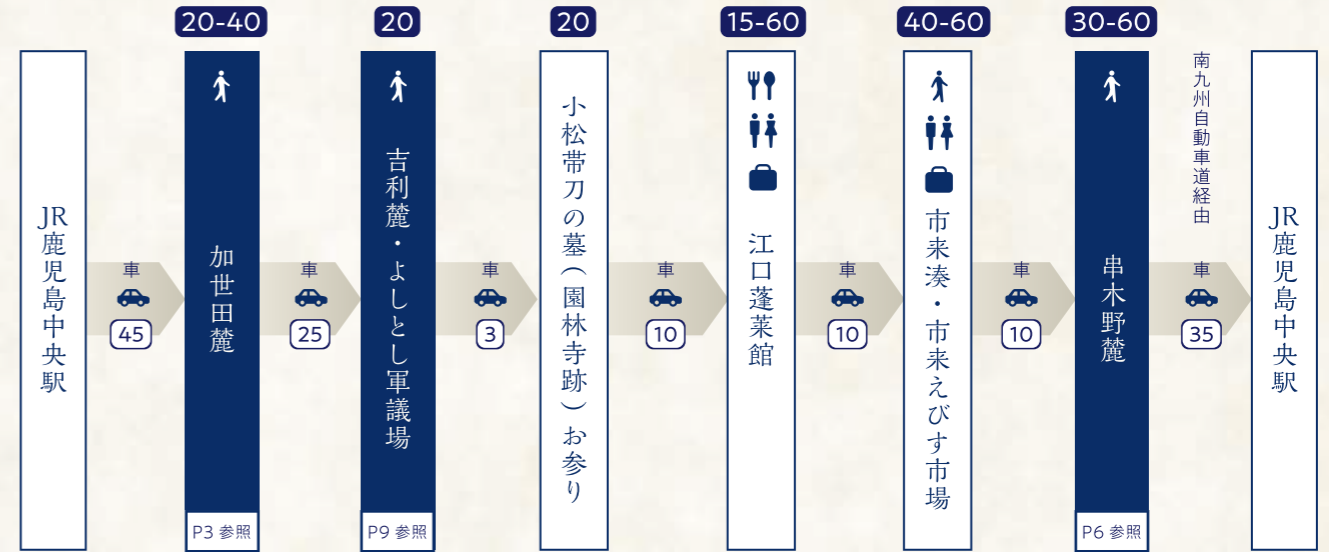


3 薩摩半島中部の麓をめぐるコース

日帰り



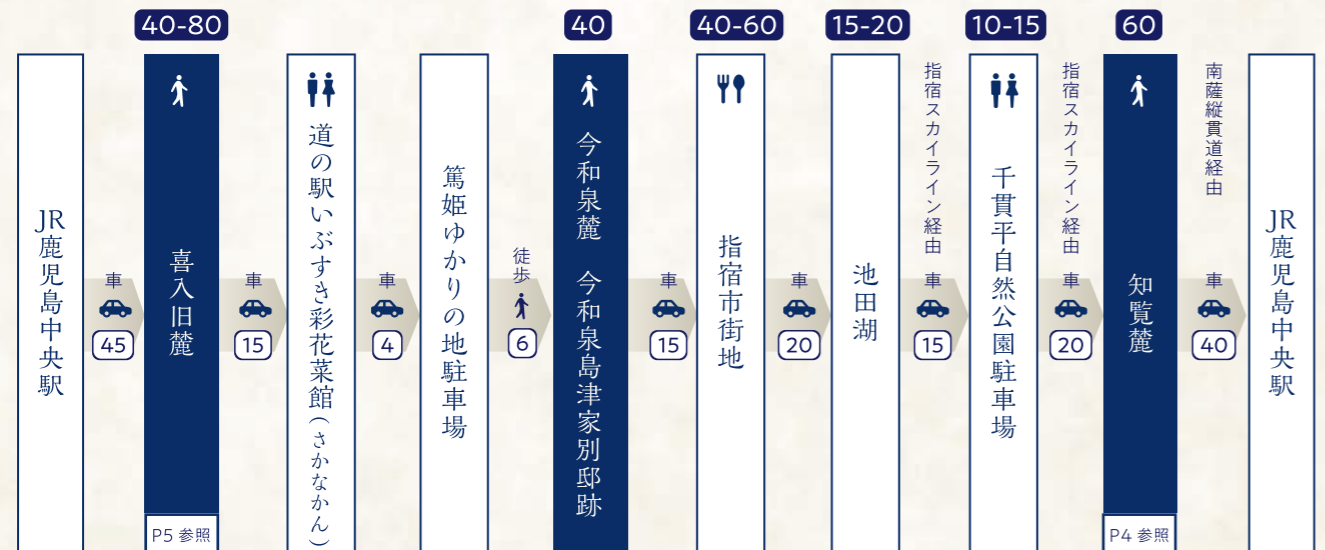
島津忠良の墓所もある加世田麓、小松帯刀ゆかりの吉利麓、島津家久・豊久ゆかりの串木野城のある串木野麓をめぐるコース。



2 薩摩半島南部の麓をめぐるコース

日帰り

海岸沿いにある篤姫ゆかりの今和泉麓と、山並みを活かした借景も楽しめる庭園美で知られる知覧麓をめぐるコース。

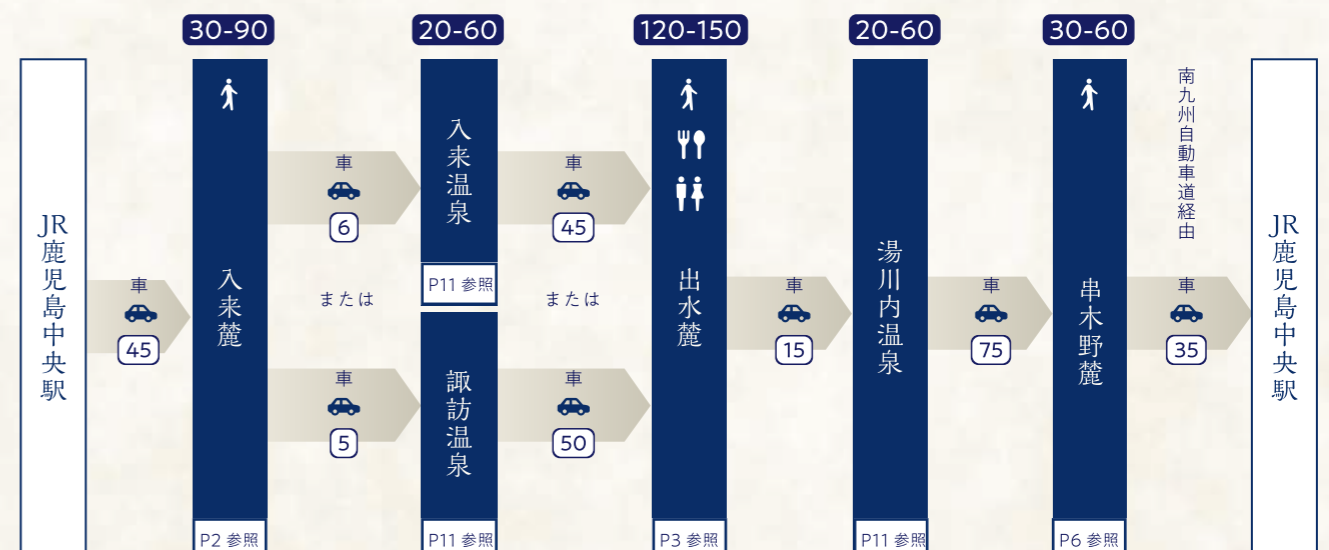


4 麓と温泉を楽しむコース

日帰り



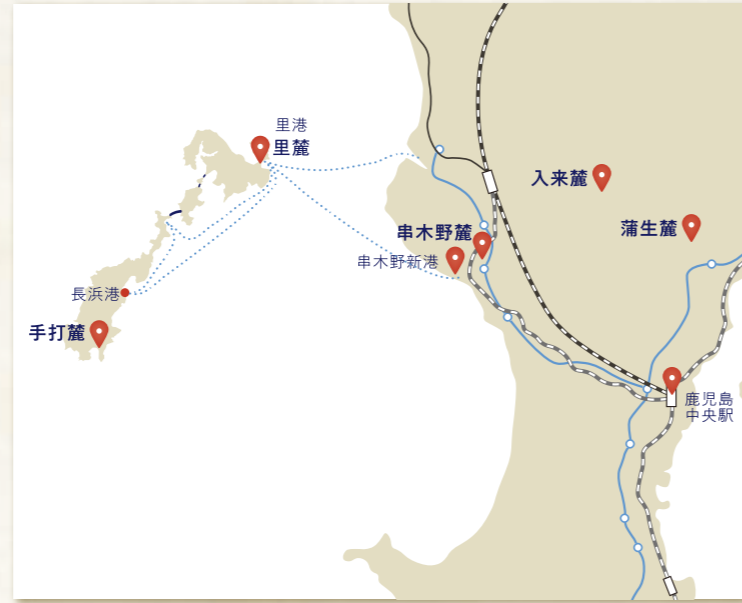
日本遺産の構成文化財にもなっている歴史ある温泉と、周辺の麓を満喫するコース。



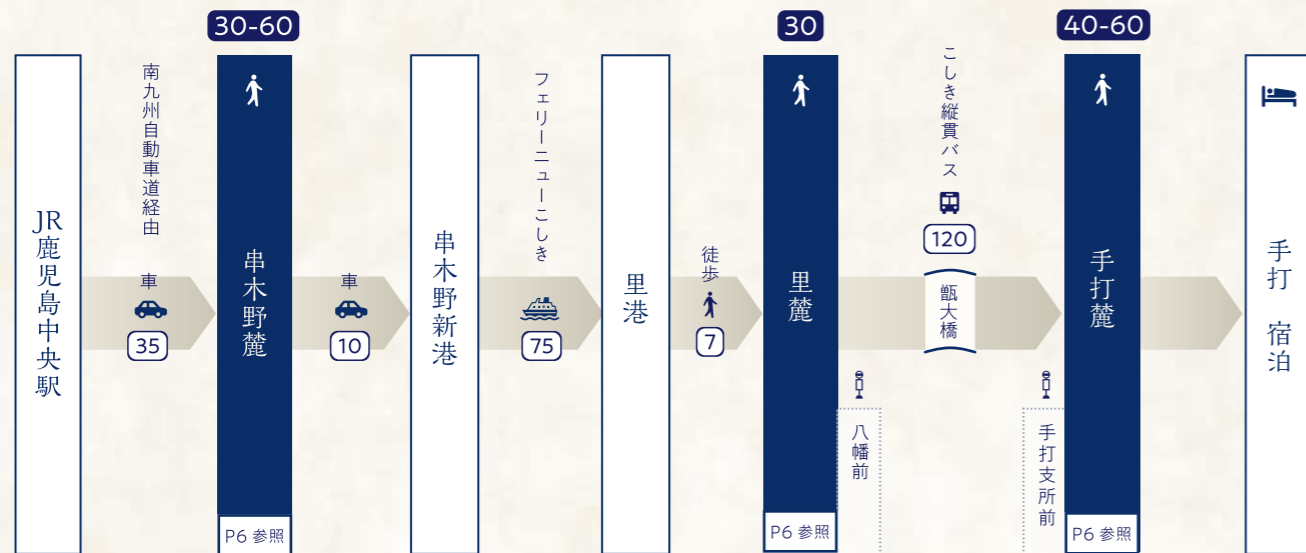
5 架橋でらくらく！ 甌島の麓と趣ある麓を めぐるコース

1泊2日

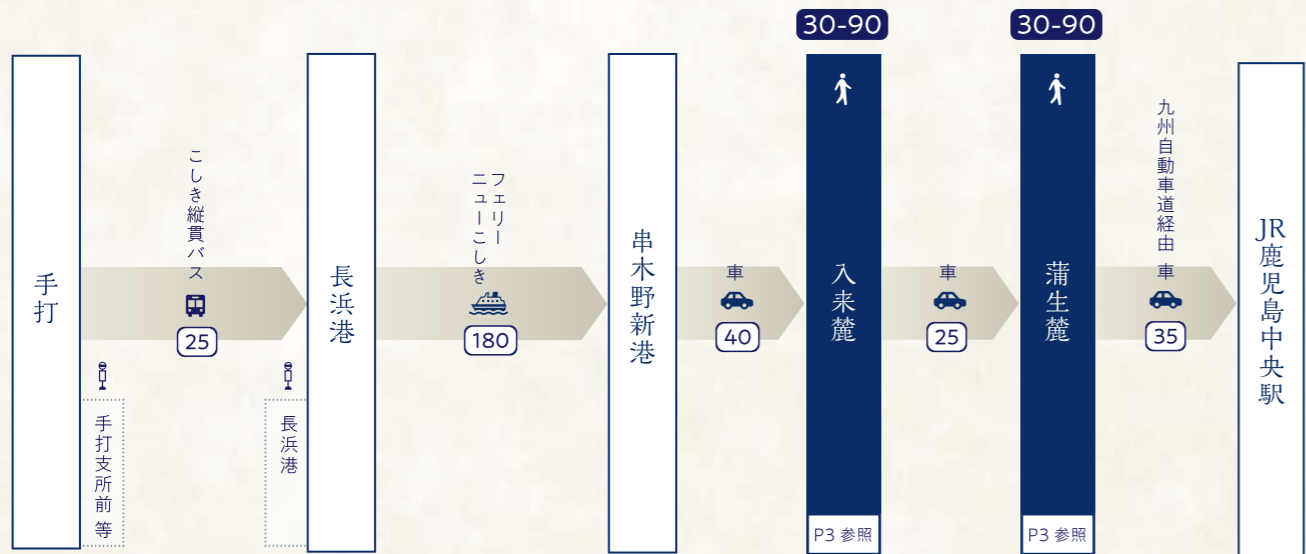
甌島のふたつの麓、里麓と手打麓の周遊が甌大橋の架橋によって容易に。加えて薩摩半島の麓3か所もよくばってまわるコース。



1日目



2日目



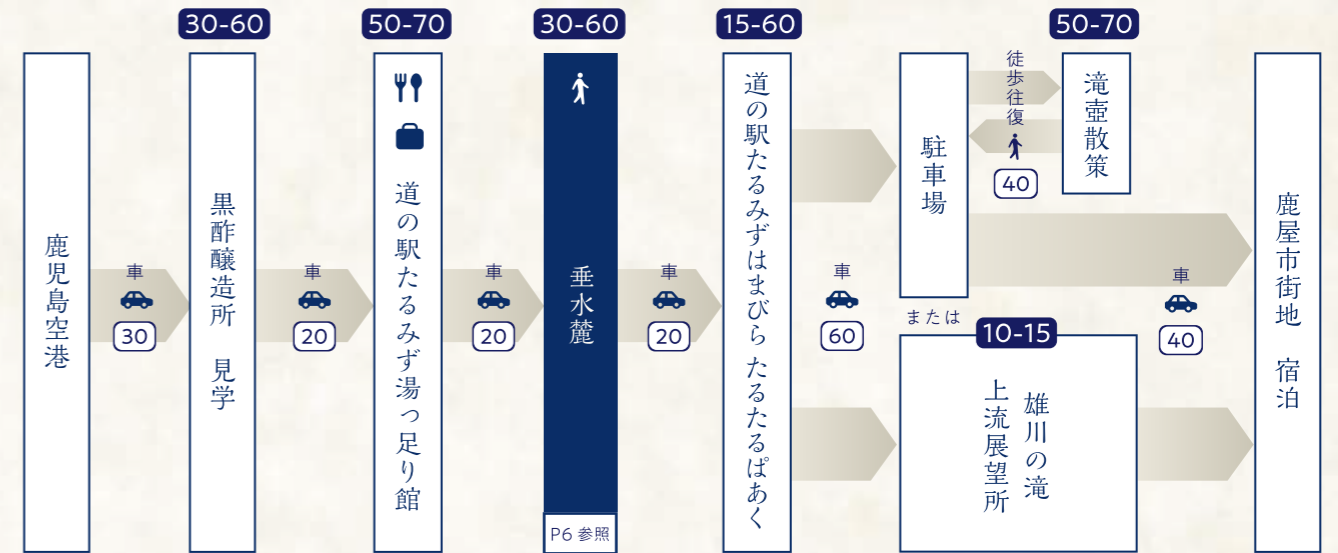
6 麓と大隅半島満喫 コース

1泊2日

大隅半島にある構成文化財の麓2か所と、絶景の滝、史跡、道の駅等をゆっくりめぐるコース。



1日目



2日目

